

加西ふるさとミーティング 2019 秋

校区名	開催日	開催場所
富合	令和元年 11 月 11 日（月）	別府西町公民館

質問・要望等		回答者	回 答
1	信号機に監視カメラを設置する要望をしているが、児童の通学路であるにも関わらず、隣接する交差点には、なぜ設置できないのか。集落の入り口について、自治会で設置するのは、納得できない。	総務部	監視カメラの設置は、警察と協議しながら進めており、まず交差点を優先的に設置し、市内全域を面で捉えようとしています。通学路のこども見守りも重要なため、他の自治会では約 40 か所で独自に設置されていますので、地域での防犯対策として対応願いたいと考えています。 今後、交差点での設置完了後、通学路についても設置を検討していきたいと考えています。
2	富合会館は昭和 46 年建で、2031 年に耐用年数を迎え、あと 10 年程度しか使えないなら、2 億円かけて耐震改修をする必要はないと考えるが、次の代替施設について個別相談するので検討いただきたい。	ふるさと創造部	富合会館の代替施設については、ご相談があれば対応します。 今後、富合会館についても丁寧にメンテナンスを行い、大切に使っていきたいと考えています。
3	消防団の制服については、昨年のタウンミーティングで急がされて地元で購入した。その際、難燃性という情報提供がなかったので非難燃性制服を町で購入し無駄になることが残念である。今後はこのようなことのないようにお願いした	総務部	消防団の制服については、平成 26 年に消防団服制基準が決定しデザインが改正されましたが、加西市は即対応せず、従来分を使用していたところ、製造中止となりました。区長様あてに新たに購入する場合は、新デザインで対応する旨の通知を行いましたが、難燃性について情報が伝わらなかったことについては、お詫びします。消防団あり方検討委員会における団員の安全の確保するため、難燃性活動服を

	い。		市の負担において対応すべきであるという提言を尊重し、9月議会で補正予算を組み、市で準備することになったところです。
4	空き家で放置されている廃屋について、高齢者が亡くなり後継者がいない、古い名義であるため名義変更もできない、撤去費用 100 万円の補助があっても対応できない。条例等で規制することはできないか。	総務部	個人の資産については、行政が手を加えることができないため、相続人の間で処分・管理等について、協議いただきたいと考えています。近隣への被害が発生し、放置していたら危険な場合は、手続きを踏んで行政代執行することもあります、その費用については、財産管理人に請求することになります。 空き家を地元のために活用する場合は、撤去費用の 2 分の 1、100 万円を上限として補助することができるので活用してください。
5	空き家の関係で、加西市で空き家の数は何件あるのか、その傾向・増減はどんな状況か。補助制度、行政代執行の件数・実績はどうか？都染町は 60 戸ありうち 8 戸が廃屋となっている。他市で補助率 5 分の 4、上限 200 万の補助制度があるので、制度拡充の検討をお願いします。	総務部	今年、空き家対策計画を策定しています。高齢者が亡くなり、その後継者が都会に転出するため、空き家は増加傾向にあります。 活用できる空き家は、「空き家バンク」として登録して、空き家利用希望者とマッチングしています。 補助金については、数件の交付実績がありますが、行政代執行の実績はありません。また、危険な空き家の相続人を確認し連絡をとって処分していただいた事例はあります。